

## 新装刊 1 周年にあたって

～とりとめの無い文章ですいません～

この「Hokuriku PC Press」も昨年(1996)の3月1日に創刊してはや1周年を経過し、その前の「陸支コ課情報」からでは3年が経過しました。その間にパソコン業界はいろいろな変化が起きすぎるくらいに起き、業界の動きが本当にそのままユーザの動向につながっているか疑問も持つほどの状態です。3年前にはCPUは486が全盛で、Pentiumがまだ高嶺の花の状態でした。OSはWindows 3.1でまだDOSのものが十分に使われていました。もちろんLANはNetWareです。その1年後にWindows 95が発売となり、時を同じくしてインターネットが見え隠れしはじめました。それからの1年から1年半はどいういったらよいものか、Pentiumが普通になるばかりか、Pentium Proが手の届くものになり、高かったメモリも4M、8Mから今は32MB以上が普通になろうとしています。なんだか、一部のメーカーの思惑でみんなが躍らされているような状態です。apricotでも1年に3回から4回は新機種が発売されます。カタログやセールスマニュアルが製品の発表の後になったり、2世代前のものが作られたりしています。

システム構築をしていく場合は、これまでと同様の期間が必要となるわけですから、ハードウェアの選択は納入直前となり、リース期間も3年と短くなることもあります。確かに、5年も前のシステムに使われているようなハードウェアは最新のものと比較できるものではありません。雑誌などの情報は最新であり、それなりの意味はあるのですが、なんだかこれにも躍らされているようで、最新がベストであるかどうかは問題があるように思われます。最新の情報が紹介したシステムが一定の評価されるものとなるかどうかはやはり時間がかかるわけですから、先進企業としてチャレンジするのであればある程度のリスクは覚悟できるでしょうが、一般企業ではやはり実績が評価の重要な条件になるものです。実際に一般企業で利用されているシステムは何年か前に導入されたものですから、ハードウェアは何世代か前のものかもしれませんが、別段問題ないのが現実ではないでしょうか。事実、支社内のシステムにはDOSのものもありますし、ほとんどお目にかかったことのないようなWindows 2.11のものもあります。基幹システムであれば十分ですし、新しいシステムにすることによって発生する仕事量が十分に帳消しになるほどのものが最新のものにあるとは思えないのです。

確かに、新しいシステムは魅力的ではあります。しかし、十分な効果を発揮するにはいろいろな条件があるように思います。イントラネットが新しいシステム構築の手段として注目されています。これからは中心として販売していかなければとも考えますが、これまでのシステムはそのままでもよいように思えます。それよりも、システムを融合させ、データの十分な活用、顧客に対するサービス提供などに使うシステムを中心に提案していけばと考えています。低成長になって、これからは情報とサービスです。この業界、先がまったく見えないのですから。

(情報誌トピックス)

○ 経 済 電 子 報 2月17日号

特集 C/Sの品質向上に挑む

→C/Sシステムが企業情報システムとして利用されてきつつあるが、システムダウンなどのトラブルに対する「品質管理」の手法が確立されていない。不安定な環境でどのように品質を向上させるか。

特集 インターネット業務利用の舞台裏

→予約などの業務の一部にインターネットを使う企業は増えているが、そのためにインターネットとホストを連携させているが、その手法は、舞台裏を覗く。

トレンド 多様化し選択肢増えたVPNサービス

→広域イントラネットを構築するためのVPN(バーチャルプライベートネットワーク)サービスは、インターネットなどの公衆回線上に仮想的に専用線を構築するサービスで、メインフレームなどを中心に提供が始まっている。

○ 経 済 エ レ 子 報 2月24日号

特集 「電子透かし」がマルチメディア時代を守る

→デジタル著作物(マルチメディアデータ)の不正利用防止の切り札として注目されている「電子透かし(データにわからないよう埋め込むIDなどのデータ)」が開発とサービスにしのぎを削っている

ニュース 米Intel、451MHz動作の「Klamath」を開発

→次期PentiumPro

技術速報 三菱電機、分散データベース構築を容易にするミドルウェアを開発

→ミドルウェア「Infoharness」は、既存の異なるデータベースを複数組み合わせ、あたかも一つのデータベースとして利用できるようにするもので、1月に設備台帳管理システムに適用した。

○ 経 済 本 日 報 2月24日号

特集 Macintoshに未来はあるか

最新ハード、OS事情を徹底解説

→追い込まれた感のあるappleの逆襲の第一歩となるか97年最新状況

特集 意外に知らないファイルのすべて

→開くことのできないファイルはどうして開かないか、基本的なファイル形式18

ニュース マイクロソフト、オープン価格採用 →メリットと懸念

あなたのパソコンは「2000年」に対応できるか →5年以上前では×?

インターネット端末が多様化 →from USA

○ 経 済 本 日 報 3月号

特集 NT4.0によるグループウェア構築

マイクロソフトと“心中”すべきか

→ NT 4.0 の登場により、注目される ASP は WWW サーバをフロンとエンドに据えてサーバ集合体を構成できるソフトだが、周辺ソフトの大部分をマイクロソフトにする必要がある。編集部で心中すべきかを見極めるためにイントラネットを構築し、検証した。

解説 CRT ディスプレイの画質を“測定”する

→ 12 製品を現場で使用する測定器で画質を測定。結果は大差なし

レビュー MMX Pentium 搭載機

ビデオ／オーディオ再生に威力 3D 性能の向上には貢献せず

→ 威力が出るのは、MMX に対応したビデオ／オーディオ再生ソフトの場合で、MMX 対応ソフト以外では 10% 程度の性能向上

### ○ ASCII 3月号

特集 賢い携帯マシン選び '97

→ Win95 対応ちびノートから PDA の最新情報まで

特集 一太郎8を見極める!!

→ 短期間でバージョンアップした一太郎。バージョンアップすべきかを見極めをするための特集

特別企画 Macintosh をバージョンアップする3つのOS

→ これまでのOSのアップデート版と、まったく新しいNEXTの流れの「Rhapsody」とBeOSの3つ

### ○ SUPER ASCII 3月号

特集 次世代 Ethernet LAN 構築計画

→ 100Mbps のパフォーマンスを発揮する次世代 LAN を構築するための基礎知識。スイッチングハブの使い方から、10BASEとの共存方法まで。

### ○ DOS/V magazine 3月1日号

特集 Plug & Play 再入門!

→ PnP カードが増えてきたが、PnP が万能でない事もわかってきた。実例にそって再検証を行う。

特集 プライベートブランドの研究 '97

→ 個人的嗜好の入ったプライベートブランドとは

### ○ ASCII DOS/V 4月号

特集 MMX PART 2

→ apricot を初め H/W から S/W までの紹介

特集 一太郎8 vs Word 97

→ 各ワープロの新機能詳細と比較

企画 Triton TX のすべて → INTEL の最新チップセット

SCOOP! - Netscape Communicator Professional Edition

→ Netscape の戦略製品群